



よこどっ子

千葉市立横戸小学校
〒262-0001
千葉市花見川区横戸町 1005
TEL043-259-5588
学校だより第6号
令和7年9月30日(火)



修学旅行の復活 —昭和から令和へ—

校長

今年は夏休みが明けても猛暑が続きました。熱中症指数が高く外での運動中止の日が続くと、子どもたちの顔が曇ってきました。これでは授業に支障が出ると、笑顔を取り戻す方法を考え、「休み時間、森の中での虫取りや散歩は OK」とアナウンスすると、子どもたちの目が輝き、授業への集中力も上がりました。よこどの森には心から感謝です。

9月10日、11日に6年生の修学旅行がありました。昨年度まで、千葉市の6年生の宿泊学習は県内での農山村留学でしたが、今年度から県外での修学旅行に変わりました。日常とは異なる生活環境の中、自然だけでなく文化にも親しみ、見聞を広め、集団生活の在り方を学び、豊かな人間性や社会性、自ら考える力をはぐくむことが目的です。1日目は鎌倉で班別活動を行い、その後山梨へ向かい、河口湖畔に泊まりました。翌日は富士山の噴火によりできた鳴沢氷穴から富岳風穴へと、樹海の中のネイチャーガイドツアーを楽しんだり、リニア見学センターで新時代の乗り物の超高速走行を目の当たりにしたりと貴重な体験をしました。

修学旅行の始まりは明治時代にさかのぼるといわれています。師範学校から始まり、やがて小学校まで広がったそうです。本校には、1世紀近く前、昭和初期の鎌倉江ノ島方面への修学旅行の記録が写真で残っています。令和の修学旅行はバスでの旅行でしたが、昭和の修学旅行は、その頃成田まで延びた鉄道での旅行だったと思われます。写真以外の記録は残っていないので詳細は分かりませんが、時間をかけて鎌倉まで足を延ばした戦前のよこどっ子が、何を見て何を感じたのか、聞いてみたいものです。

令和のよこどっ子とは、大仏や鶴岡八幡宮をはじめ、たくさんの人が訪れる地を、グループごとに協力し堪能しました。鎌倉の魅力をより深く知るために、観光客へのインタビューも行いました。英語でのインタビューにも果敢に挑戦し、なぜ鎌倉を訪れたのか、どんなおみやげを買ったのかなどを尋ねていました。子どもたちのチャレンジを私も見守りましたが、漫画のスラムダンクが好きで、作品に出てくる「鎌倉高校前」からの景色を自分の目で見たくて鎌倉に来たという外国の方の話を聞くなど、1世紀前のよこどっ子は予想しなかったであろう、新しい鎌倉の魅力を発見することができました。インタビューでは、逆におすすめのおみやげを聞かれ、自分たちが買ったものを一生懸命紹介するなど、コミュニケーションを楽しんでいました。また、限られたこづかいの中で、一生懸命計算し、家族を思い浮かべながら買い物するのも生きた学習で、ほほえましいものでした。

翌週には5年生の横浜へ校外学習がありました。ここでも熱心にメモを取りながら活動する姿がありました。帰ってきてからはさらに学びを深めたり、学んだことを伝えたりする学習に取り組んでいます。秋は各学年、学校を離れての学習が続きます。実りあるものとなるよう、ご家庭でも是非話題にしてください。



昭和3年修学旅行 鶴岡八幡宮にて